

# 空き公共施設と新たな働き方

総務省「公共施設オープン・リノベーション推進事業」の採択を受けサンライズガーデン(旧市営プール)を市がリノベーション。(株)Ponnufが「コワーキングコミュニティhinode」の名称で平成29年5月オープン。移住促進・仕事誘致・ビジネス拡大の3本柱で事業を展開。

## <事業展開>

**【移住促進】**  
人材を集め育成し  
仕事拠点の土台を築く

**【仕事誘致】**  
対外アプローチを  
強め外需を高めていく

**【ビジネス拡大】**  
仕事や雇用を生み出す  
内需を高めていく



## <実施内容>

### 「田舎フリーランス養成講座」



### 「半農半フリーランス養成講座」

### 「ママ向けフリーランス養成講座」

### 仕事場提供(コワーキングスペース)

### シェアハウスの管理

### クラウドソーシングサービス IT企業と連携し仕事案件の誘致

### 施設を中心とするコミュニティづくり

### 作り手が活躍できる場の提供

## <実績>

第1回(平成29年5月)8名/第2回(平成29年8月)12名  
第3回(平成29年12月)7名/第4回(平成30年3月)13名  
第5回(平成30年4月)16名/第6回(平成30年6月)15名  
第7回(平成30年9月)16名

### 【参加エリア】

北海道・山形・大阪・兵庫・愛知・岐阜  
長野・福岡・福井、他全国各地より参加

### 【長期滞在者数】

8名(山形・神奈川・埼玉・福岡・長野)

### 【住民票移動者数】

5名(千葉・神奈川・埼玉・奈良・福井)

第1回(平成29年10月):参加者7名

千葉・埼玉・山形・新潟・広島

第1回(平成29年11月開催予定/全6回)

【月額会員数】8名(平成30年9月末時点)

【物件管理数】3件

クラウドワークス×hinode×いすみ市  
クラウドワーカー支援・三者協定締結

【イベント開催数】11回  
【参加者総数】200名以上

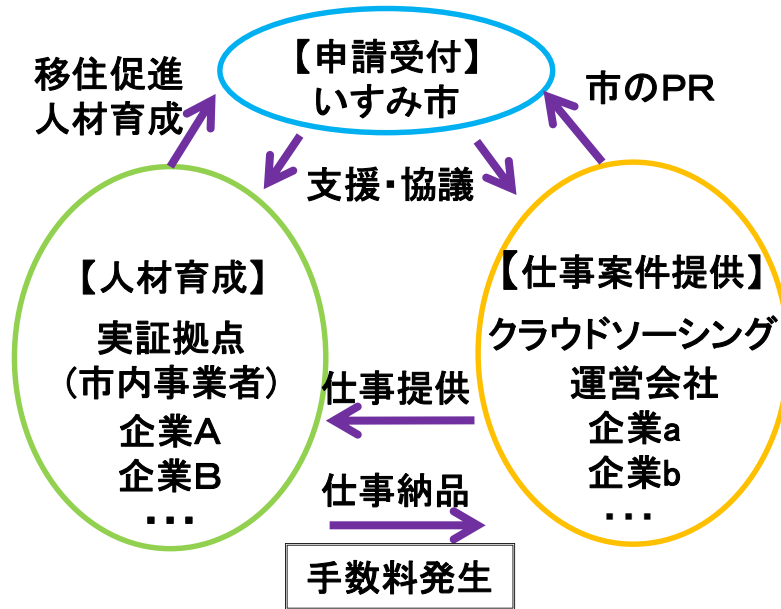
【イベント開催】月1回

# いすみ市クラウドソーシング手数料助成事業

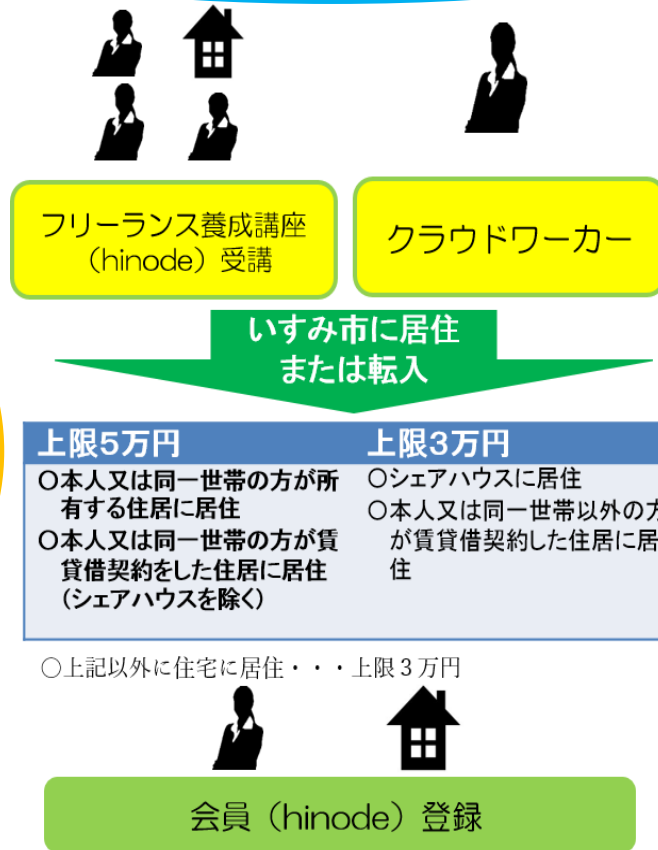
クラウドソーシングによる新たな(場所にとらわれない)働き方を促進するため市内に実証拠点を設定。クラウドワーカーの支援と生活の安定化を図り、いすみ市への若者定着及び地域の活性化を実現するため、クラウドソーシングを利用して仕事を受注し報酬を受けた者に対しシステム利用料を助成。

## 協定による三者の連携

平成30年10月スタート時の体制



## 対象となる方のイメージ



## クラウドワーカー支援で若者移住を“住みたい田舎”目指す千葉県いすみ市

住下 節子 [Business Insider Japan]  
© 2018 BUSINESS INSIDER JAPAN

“住みたい田舎”として人気の街・千葉県いすみ市が、新たな移住・定住プロジェクトを立ち上げた。ターゲットは「若いクラウドワーカー」だ。クラウドソーシングのネットワークを市が、仕事の紹介を大手企業が、ノフハウと地域で顔立しないようなネットワークを地元企業が、三つ巴でサポートする。

### 市と企業と地元ベンチャーが連携

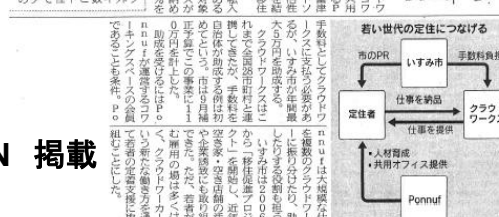


いすみ市、若者の定住へ  
ネットの仕事  
仲介を支援

都府県内に住む若者が、都府県外へ移住したいという希望がある。しかし、移住にはさまざまな課題がある。例えば、住居の確保や、仕事の手配など。いすみ市は、クラウドワーカーの支援を通じて、若者の定住を促進している。

手数料を助成

クラウドソーシングを利用するクラウドワーカーは、システム利用料を支払う必要がある。いすみ市は、この費用を助成している。対象者は、いすみ市に居住または転入したクラウドワーカーである。



## 補助の対象となる方及び助成期間

- ・実証拠点(hinode)の会員
- ・転入者は転入日から3年以上いすみ市に定住する意思がある方
- ・市税等の滞納のない方
- ・1年度1回。最大24月間。対象者1人につき2回を限度

10月3日(水)BUSINESS INSIDER JAPAN 掲載  
10月3日(水)日本経済新聞 掲載